

質問 基幹産業の農業を守る取り組みをすべき

町長 スマート農業の推進を図る

質問 人口減少により米の需要減少が加速した場合、生産による需給バランスが崩れる心配がある。町の基幹産業である農業を守るために、従来の施策を見直し、思い切った施策転換が必要ではないか。

答弁 国の助成制度を有効活用しながら生産の維持拡大を図るとともに、スマート農業の推進に対する施策の展開を含め、ヒコネ農協、ヒコネ農業公社などの関係機関と連携し、安心して農業を継続できるよう農業の振興発展に力を注いでいく。



白石議員

質問 外国人労働者の働きやすい環境整備をすべき

町長 企業からの情報を確認しながら環境整備を進めていく

質問 労働者不足を補つために外国人労働者を雇用する事業所が増加してきており、処遇を巡ってのトラブルも多発している。本町でも外国人労働者に頼らなければならぬ状況が想定され、外国人労働者が働きやすい環境整備の一つとして相談窓口を開設してはどうか。

答弁 外国人労働者からの相談は、外国人技能実習生を受け入れた監理団体が行うことになっている。本町に相談があった場合は、内容に応じて所管する専門機関に引き継ぐなど適切に対応していく。今後、本町でも外国人を雇用する事業所は増えていくと思われるため、法律等を確認し、受け入れ事業所と情報を共有しながら外国人労働者が働きやすい環境づくりに努めていく。

再質問 外国人の労働力の必要性が高まる中、外国人労働者が来なければ産業がストップすることも危惧される。本町の産業維持にも外国人労働者が増加していくことが確実に見込まれることから、積極的な対応をすべきではないか。

答弁 町内では既に10名の外国人が労働しており、企業が自主的に人材を確保している。そのような企業の受入れの状況を確認しながら、労働者、雇用する側、地域がお互いに良い状況になることを踏まえた上で関係機関と連携し、環境づくりを進めていく。

質問 1期目4年の評価と町長選出馬の意思は

町長 町民の幸せに全力を尽くす覚悟で次期町長選に出馬したい

質問 平成27年に第7代新十津川町長に就任。この3年7か月の間、新十津川町総合戦略を策定し、多くの施策、事業を積極的に実施してきたことは高く評価できると感じる。政策の達成度や進捗状況、成果をどう評価しているのか。また、その上で、次期町長選挙への出馬の意思を伺う。

答弁 私の1期目の評価は議員の皆様や町民の皆様にしていただきたいと思うが、任期中、町民の皆様にお約束した事柄については、概ね達成できたように思う。しかし、地方自治を取り巻く環境は、人口減少、少子高齢化など社会的な流れから本町においても依然厳しい状態が続いている。その他にも、JR札沼線廃線後のまちづくり、産業振興、自然災害に対する備えなど、町民だれもが安全で安心して、いきいきと活躍できる新十津川に向けただまだ取り組まなければならない課題が山積している。この状況を踏まえ、これまでの1期4年間の実績と経験を活かし、住んでよかったと実感でき、元気で魅力あふれる新十津川町をつくり出していきたいと考えている。

歴史と伝統のあるわが町新十津川町の発展、さらには町民の幸せのために力の限りを尽くす覚悟を持って、次期町長選出馬の挑戦をさせていただきます。



西内議員

